

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	鼻中隔外鼻形成術術後における患者報告アウトカムの改善とその関連因子に関する後ろ向き観察研究		
1. 研究の目的と方法	鼻中隔外鼻形成術は、鼻づまりなどの機能的な問題を改善するとともに、鼻の形態を整えることを目的として行われる手術です。しかし、手術後の改善の程度には個人差があり、その改善に関連する要因については十分に分かっていません。本研究では、当院で鼻中隔外鼻形成術を受けた患者さんを対象として、手術前後の J-SCHNOS（鼻の機能および見た目について患者さん自身が評価する質問票）の変化と、患者さんの背景や手術内容などとの関連を統計学的に解析し、術後の改善に関連する要因を明らかにすることを目的とします。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029 年 03 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2022 年 04 月 01 日～2026 年 08 月 01 日の間に附属病院にて鼻中隔外鼻形成術を受け、術前 J-SCHNOS を実施し、術後 3 か月以上経過観察され術後 J-SCHNOS を実施された 18 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	J-SCHNOS、性別、年齢、身体所見、既往歴、手術内容、周術期合併症	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。 J-SCHNOS に関しては過去の先行研究（日本語版 SCHNOS の作成と有用性の検討）で取得されたデータを二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 形成外科学講座
		氏名	大塚航
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026 年 11 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 形成外科学講座 研究責任者：助教 大塚 航（おおつか わたる） 電話番号：03-3433-1111（内線 9240） 対応時間：平日 09:00 ～ 16:00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。